

---

# ALICE

まりお

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

A L I C E

### 【Nコード】

N 2 4 6 1 D

### 【作者名】

まりお

### 【あらすじ】

「A L I C E」に魅入られた者は力を得る、そして時を失う

## 少女の夢

始まりは一人の少女

彼女は夢を見る

とても とても悲しい夢を

未だ覚めない夢の中で

彼女は泣き続ける

彼女は探し続ける

この夢の終わりを

# S | o n e : P i c t u r e b o o k

D o w n D o w n D o w n

意識が落ちてゆく、暗い暗い水底へ

ポチャンッ

小さな雨粒が落ちる音に似たような音をたて、体は水の中へ

「ねえ」

声がする、水面に小さな女の子が立っていた

金色の髪

透き通るような碧眼

泣いていた、彼女の目から、涙が溢れている

どうして泣いているの？

そう、問う前に、彼女の口から言葉が発せられる

「夢の終わりは、どこ？」

途端、世界が崩れた

「そーれっ!!」

「ごふうっ!!??」

夢から覚めると、まずまっていたのは鈍い痛みだった

「あつ夢人ちゃん?!!どうしようっ悪化したっばいよお」

「ほらな、だからやめるといったんだ・・・」

だんだん脳が活性化してきた・・・、どうやら2人の女性がなにか話しているらしい、まだ頭がほわほわして上手く聞き取れない

「夢人ー大丈夫かー?」

新たな声が会話に加わる、今度は男性の声だ

「そ、それが・・・」

「って、なんかさっきより悪化してないか?!、おいっ夢人!!!起きろ!!!!!!」

「うー・・・」

脳が完全に機動

「みんなどうしたの?・・・」

「どうしたのって・・・」

「「お前が倒れたんだあ!!!!!!」」

「どうやらボクが倒れたらしい、・・・ってええ?!

「なんで?!」

「こっちが聞きたいわ!!」

話をきくと、みんなで図書室で勉強していると、突然ボクが倒れたらしい

で、今現在保健室

「そうだったのか・・・」

「他人事のようにいうなボケ」

はは、と、とりあえず笑いを返す

「そうですよお、私たち心配でしたのよ？」

栗毛で背の高い胸の大きないかにもお姉さま的な女性が悲しげな表情を作る

「ごめん・・・」

「特にこの子が」

「なっ、違う！！私は心配なんてしていないっ！！」

長く黒い髪の小柄な女性が叫ぶ

「うーん、もうっこのツンデレめー」

「私はツンデレなどではないっ！！」

「ああ、夢人、ひとついいか？」

少しの間空気がたった、茶髪で制服を着崩した男性が話しかける

「ん？、どうしたの」

「お前、勉強してたんだよなあ？」

なにを当たり前なことを

「だよな、」

「どうしてそんなこと聞くの？」

「いや、お前あつちで絵本読んでたじゃん」

彼がそんなことをいうが、ボクにはそんな記憶ない

「うーん、そのほんの題名は？」

思い出すようなそぶりを見せ、彼は口を開く

「不思議の国のアリス」

思えば、これが最初の始まりだったのかもしれない

悲しい、悲しい夢の

## S | t w o : W o r r y

あの日以来、ボクは同じ夢を見るようになった

いつも、小さな女の子が出てきて、ずっと泣いている夢

ボクは何かしたくても、なにもできない

もちろん誰にも相談はしていない、したとしても、余計な心配をかけるか

「夢人ちゃん、私いい病院しってるのよ」

つてな感じで運が悪ければ精神病院に連行されかねない……

ちなみにいまは下校中、学校という束縛から解放されたあとだ  
普段なら友人と4人で帰るのだが

「なあ、夢人、お前なんか疲れてないか？」

と、茶髪の制服を着崩した男性こと 岡島 おかじま 雄二 ゆうじ に言われ

「夢人ちゃん、なんか悩み事でもあるの？」

と、栗毛の背の高い胸の大きいかにもお姉さま系の女性こと 小 こ 山 やま 優梨子 ゆうりこ に言われ

「夢人……お前いじめられてるのか？」

と、長い黒髪の小柄な女性こと 椎野 しいの 麻奈 まな にまで、誤解を交えて  
悩みを抱えていることを悟られそうになったため、これ以上追求され  
ないために、チャイムのなった瞬間ダッシュで教室を飛び出して  
きたのだ

一部ボクを不審な目で見ていた生徒がいたけど、そんなの気にしない

「まったく、みんないい友人すぎて悩みも隠せないじゃないか……



」  
つぶやき、苦笑する

「そうさっ!!、お前の悩みなんてお見通しだ!!!」  
.....。

「目標を発見!、確保します」  
は?

「覚悟しろ、夢人!!」

えっ、何?、何この状況

「ちよっ、ぎゃああーっ??!!」

あつけない声をあげ、ボクは捕まった、というか縛られた.....



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2461d/>

---

ALICE

2010年10月17日07時53分発行